



## 未来をひらく「決断」を、共に見守る。

今週は、お忙しい中での個人面談、本当にありがとうございました。

お子さまが描く「これからの道」、そして保護者の皆さまが願う「お子さまの幸せ」。それぞれの熱い思いを直接伺うことができ、私共にとっても非常に身の引き締まる一週間となりました。「やりたいことがはっきり決まっている」子もいれば、まだ「未来の景色がぼんやりしている」子もいます。親心としては、つい「早く決めて安心させてほしい」と思ってしまうものですが、今はそれで良いのだと感じています。

面談に先立ち、清水先生によるキャリア講話や、プロジェクトでの高校調べを通して、子どもたちは懸命に情報を集めてきました。あえて「悩む時間」を作ってきたのは、自分の人生を自分の足で歩き始めてほしいと願っているからです。

進路選択は、ある意味で究極の「探究活動」です。最初に描いた目標に向かって進む中で、「やっぱりこっちかもしれない」と新しい道が見つかることもあるでしょう。大切なのは、最短距離で正解にたどり着くことではなく、「迷いながらも、最後は自分で決めた」という納得感です。

その強い意志こそが、SOLANでこれまで育んできた力であり、困難にぶつかった時に彼らを支える一生の財産になると信じています。

子どもたちが悩み、迷い、自分だけの道を見出すまでのプロセスを、私共学年団一同、全力で、そして温かく応援してまいります。

今後とも、お子さまの挑戦を共に支えるパートナーとして、どうぞよろしく願いいたします。



7年生にプレゼンのアドバイス



情報の年間計画を立案中



学級組織を話し合い中



## 青空へ突き抜ける! 快音響くTボール

「カキーン!」

澄み切った青空に、快音が響き渡ります。体育の授業で行っているTボール。バットを思い切り振り抜くと、放たれた白球は吸い込まれるように空の彼方へ!

さすがは8年生、スイングの鋭さとパワーには目を見張るものがあります。一般的に、学年が上がるにつれて運動を敬遠しがちになる時期とも言われますが、8年1組にはそんな心配は無用なようです。ボールを追いかけることを楽しんでいます。その姿からは、「今、この瞬間を全力で楽しむ」という、このクラスらしいポジティブなエネルギーが溢れていました。

何より印象的だったのは、グラウンドいっぱい広がった生徒たちの笑顔です。ファインプレーに歓喜し、惜しいミスも笑いに変えて励まし合う。

体を動かす爽快感はもちろんですが、仲間と心を動かしかう楽しさを知っている皆さんの姿を見て、見守る私まで「明日も頑張ろう!」と心の底から元気が湧いてきました。

